

常議員候補者 [関東選挙区]

やま だ たけ ひこ
山田 毅彦



利便性の高い知的財産制度と、
適切な日本弁理士会の組織に向けて

この度、令和4年度日本弁理士会役員定時選挙にあたり、常議員として立候補させていただきました。

令和3年度上半期は、新型コロナウイルスが国内外において一層拡散し、しかも製造業において日本を牽引する自動車業界では世界的な半導体不足に悩まされた結果、経済界はK字型と言われるように好況事業と不況事業に二分されています。このような状況下では、中小企業であるか大企業であるかに加えて事業分野ごとに全く異なる施策が求められることとなります。

他方、知的財産分野で活躍すべき弁理士には大手事務所、個人事務所、企業内弁理士、大学教授職員など様々な就業形態があり、弁理士にとってもそれぞれ異なる立場で弁理士たる成果が求められることとなります。

これら異なる状況下における経済界のニーズに答えるべく、それぞれ異なる役割を担う弁理士が成果を挙げるには、バランスのとれた利便性の高い知的財産制度と、適切な日本弁理士会の組織の構築が急務となります。このような観点で常議員の職務について一翼を担う所存で御座いますので、皆様のご支援を賜りたくよろしくお願い申し上げます。

経歴 年齢:48歳 弁理士登録番号:第13650号

平成7年 東京工業大学工学部 生産機械工学科卒業	平成27年 ADR推進機構委員 【関東会活動歴(主なもの)】
平成9年 東京工業大学大学院理工学研究科 修士課程修了	平成20年~平成23年 栃木委員会副委員長 平成24年~平成26年 栃木委員会委員長 (栃木県窓口責任者)
平成9年 富士重工業株式会社入社	平成27年~平成28年 知財教育支援委員会 副委員長
平成14年 東京国際特許事務所入所	平成27年~令和3年 栃木委員会副委員長 【クラブにおける活動歴】
平成22年 山田特許事務所開設 現在に至る	平成18年 弁理士春秋会幹事 平成19年 弁理士春秋会広報委員会副委員長 平成20年 弁理士春秋会幹事 平成21年 弁理士春秋会副幹事 平成22年 日本弁理士クラブ幹事 令和3年 日本弁理士クラブ幹事
【日本弁理士会活動歴】	
平成19年~平成20年 研究所運営委員	
平成21年~平成22年 国際活動センター員	
平成21年 総合政策検討委員会委員	
平成22年 業務対策委員会委員	
平成27年~平成28年 知的財産価値評価 推進センター運営委員	

推薦の言葉 推薦人 波多野 久

山田先生は、日本弁理士会では国際活動、ADR推進機構他、多くの委員会活動を経験し、関東会では栃木委員会の正副委員長として活躍しました。さらに企業や事務所勤務後、自ら事務所を設立し、事務所経営を通して職責を果たしています。

山田先生は48歳と年齢的にも脂がのっており、何事に対しても誠実に取り組む行動力のある紳士的な方で、弁理士仲間から厚い信頼を得ています。

弁理士を取り巻く環境は社会情勢の変化により大変厳しい状況にあり、変革を進めるためには、山田先生のような高い見識と深い洞察力を持つ方こそが常議員に必要な人材です。常議員に適任の山田先生を心より強く推薦致します。

推薦人 波多野 久、清水 善廣、豊崎 玲子、吉田 尚美、中島 拓、大沼 加寿子、栗原 弘、小松 悠有子

常議員候補者 [関東選挙区]

さい とう まなぶ
齋藤 学



一人一人の弁理士の将来のために

このたび、令和4年度日本弁理士会役員定時選挙において常議員に立候補させていただきました。

第4次産業革命の進展やコロナ禍による新生活様式等、弁理士を取り巻く環境は大きく変化しています。日本弁理士会でも執行役員の先生方を中心に、様々な施策が行われていますが、一人一人の弁理士が、どのような弁理士の将来像を描くのが、これまで以上に大切になっていると思います。

常議員の職務は、総会に付する議案に関する事項の審議、総会から委任された事項の審議等です。つまり、常議員という役割は、執行役員会と総会、言い換えると、一人一人の弁理士を繋ぐ役割であると考えています。

私が常議員に当選させていただいた暁には、微力ではありますが、一人一人の先生に弁理士会の活動に関心を持っていただき、一人一人の先生の意見を日本弁理士会で活かせるような活動に尽力していきたいと考えております。皆様のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

経歴 年齢:52歳 弁理士登録番号:第16220号

平成10年 東京大学大学院工学系研究科 修了	平成30、31年 会報委員会 委員
平成10年 株式会社フジクラ入社	平成31年 規約委員会 委員
平成21年 青和特許法律事務所入所 現在に至る	【弁理士春秋会活動歴】 平成25~27年 政策委員会 委員 平成26、28年、令和2年 幹事(平成28年、令和2年 副幹事長)
【日本弁理士会活動歴】	平成27、29~31、令和3年 協議委員会 委員
平成25年~令和2年 研究所 運営委員	平成27、29~31、令和3年 【日本弁理士クラブ活動歴】 広報委員会 委員 (平成29、31年 委員長)
【関東会(関東支部)活動歴】	
平成28年 企画及びサービス委員会 委員	
【日本弁理士クラブ活動歴】	
平成27、29、30年、令和3年 協議委員会 委員	

推薦の言葉 推薦人 青木 篤

次期日本弁理士会常議員候補に齋藤学弁理士を推薦します。常議員の資質として幾つか重要な資質があると思います。第一は、弁理士としての優秀さ、第二は弁理士会会務に関する知識・理解を有し、さらに弁理士法等関係法令の知識を具備していること、そしてこれが最も重要ですが、第三弁理士業界への高いプライドと、弁理士業界への愛情とを有していること、です。

齋藤弁理士は長年わたり特許業務に携わった特許のプロです。発明の権利化からエンフォースメントに至る十分な実績は多くの人の認めるどころです。また、これまで彼は春秋会を介して弁理士会の様々な活動に関与し、貢献してきました。この活動を通じ、彼は弁理士会会務、関係法令に深い知識を持つことになりました。弁理士業と弁理士会への愛情は疑いありません。以上から、私は齋藤弁理士を強く推薦する者です。

推薦人 石川 徹、青木 篤、小林 龍、平山 淳、出野 知、川崎 典子、加曾利 正典、中村 祥二、遠山 良樹、尾田 高美

常議員候補者 [関東選挙区]

やま かわ ひらく
山川 啓



多くの弁理士が繋がる
明るい未来を目指して

これまで、研修に関して、企画運営や、単位認定の審査等に携わらせていただきました。また、いろいろな場を通じて、弁理士の交流に関する企画にも携わらせていただきました。さらに、地域会の活動として、弁理士の知名度アップや地域貢献等を図るべく、各種イベントや知財相談等にも参加させていただきました。

こうした各種活動を通じて、会派内外や年齢、経験等を問わず、多くの方々から学ぶ機会を得られたことは、非常に幸運でありました。この度、常議員として立候補させていただく機会を得られましたのも、人との繋がりがあったからこそであると思っています。

コロナ禍の折り、交流の機会が得難い状況にあり、また、私自身、まだまだ多くのことを教えていただく側ではありますが、常議員の職務を拝命することとなりましたら、微力ながら自身のできる精一杯の範囲で、弁理士間で繋がりを持つ機会が少しでも多くなり、明るい未来のある弁理士会となるよう精進して参る所存です。

皆様のご支援をよろしくお願い申し上げます。

経歴 年齢: 46歳 弁理士登録番号: 第18114号

平成13年	大阪大学大学院理学研究科 修了	[関東会活動歴]
平成13年	青年海外協力隊(任国ガーナ共和国) 参加	平成25年~令和 3年 千葉委員会 委員
平成15年	帰国	平成28年 研修対応委員会 委員
平成15年	光進国際特許事務所 (旧大石・福田・藤本国際特許事務所) 入所	[日本弁理士クラブ活動歴]
	現在に至る	平成29年~平成30年 研修委員会 委員
	[日本弁理士会活動歴]	[弁理士春秋会における活動歴]
	平成30年~令和 3年 研修所 継続研修審査部 部員	平成24年~平成28年 研修委員会 委員
		平成31年~令和 3年 幹事

推薦の言葉 推薦人 光永 和宏

山川先生は、これまで主に研修に関する各種委員としてご活躍されてきました。春秋会研修委員会をはじめとして、関東会や、日本弁理士クラブでも研修に関する委員会ご経験されており、研修所においても、審査部にて継続研修に関する審査をご担当されています。

また、ここ数年は、春秋会幹事会でもご活躍され、昨年度は私も幹事としてご一緒させていただきました。他の幹事の方も含めて協力し合い、楽しい交流の機会をもつことができました。弁理士会の活動に実直に取り組んでいただけていると思いますので、ご支援よろしくお願い致します。

推薦人 三田 康成、塩川 和哉、光永 和宏、河嶋 慶太、金森 靖宏

常議員候補者 [関東選挙区]

はつ どり けん た ろう
服部 謙太郎



弁理士にさらなる活躍の場を

新型コロナウイルス感染症拡大による影響は長期化するとともに、私たちの生活様式や事務所の運営手法等は変化し、これが定着しつつあります。一方で現在の状況はDXやIoT、AIあるいは情報技術を融合した付帯サービスの増加を強く促すものでもあり、新たなビジネスが生まれつつあります。

特に、AIやデータといった分野は、大企業等といえども従前有していた知見とは異なる観点からの検討、新たな知見が必要とされ、その活用や保護をどうすべきか悩んでいます。このため、現在の状況はこの分野に通じた中小企業・スタートアップ企業や弁理士にとって活躍の機会といえますし、クライアントのニーズを満たすには他業界との連携や個々のスキルアップの機会も必要となるでしょう。

常議員の職務を拝命する機会がありましたら、弁理士会の運営において弁理士業界の活性化・他業界との連携強化によるさらなる活性化の実現に向けて、微力ではございますが貢献したいと考えております。ぜひとも皆様のご支援を賜りたく、どうぞよろしくお願い申し上げます。

経歴 年齢: 40歳 弁理士登録番号: 第19403号

平成18年	慶應義塾大学法科大学院卒業	令和 2年 不正競争防止法委員会 委員長
平成19年	弁理士登録	令和 3年 不正競争防止法委員会 副委員長
平成19年	竹田総合法律事務所 入所	平成30年 技術保護エキスパート作成委員会 委員
平成26年	弁理士登録	令和 3年 知財活用検討委員会 委員
平成31年	桜坂法律事務所にて加入	[弁理士春秋会活動歴]
	[日本弁理士会活動歴]	平成28年・平成29年 幹事
	平成28年~令和 3年 不正競争防止法委員会 委員	平成28年・平成29年 政策委員会委員
	平成30年度・令和元年度 不正競争防止法委員会 副委員長	

推薦の言葉 推薦人 松永 章吾

服部先生は、春秋会の推薦により2018年から継続して不正競争防止法委員会の活動に取り組んでおられ、委員長または副委員長として活発な議論を先導してされました。2018年に取り纏められたご論稿「不正競争防止法に関する『一般条項』についての各国法制度の比較」(パテントvol. 72 No. 13)は、国内における最先端の研究として高い評価を受けています。今後予定されている不正競争防止法の改正に日本弁理士会が重要な貢献をするために、また、新たな業務領域における弁理士のプレゼンスを高めるために、服部先生に常議員としてご尽力いただくことを願います。

推薦人 八本 桂子、白洲 一新、二間瀬 覚、藤村 明彦、松永 章吾